

<白金標準、景気懸念の材料にサポートラインを下回っている・・・>



(出所：オアシス)

FOMC 議事録では「根強いインフレと経済政策の不確実性を背景に、金利を据え置く構えを表明」と記載され、経済指標でも小売売上高が前月比 0.9%減、2 年ぶりの大幅減となり、住宅着工件数でも 136.6 万件で大幅低下し、週末には米国非製造業 PMI が 49.7 へ低下し、ミシガン大消費者信頼感でも前月を下回る 64.7 となっている。また 5~10 年先のインフレ期待が 3.5%まで上昇し 1995 年以来の高水準を示すなど、インフレ高に対する景気悪化懸念が示されている。またトランプ大統領は自動車、医薬品、半導体に 25%の関税適用すると発言し、週末には米国ハイテク企業が外国に課されているデジタルサービス税を課している諸国に対し関税を課す方向で大統領覚書に署名している。特に景気商品の白金価格は、関税に対する懸念が個人消費の伸びを抑えるなど景気要因の懸念が白金価格を抑え込む動きを見せている。ただマーカンタイル取引所の指定倉庫の在庫は、関税を理由に大統領選以前の 4.3 トンから 2 月 20 日には 16.2 トンまで増加するなど根強い強気の見方が存在しており、今週の新甫発表以降の値動きで巻き戻しの動きに期待感が高まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** も下げている。RCI でも **短期** が下げて、**長期** も下げるなどオシレーターは弱気を示唆している。そのため 4600 円を試す値動きに注意が必要に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,065,000円(2025年2月25日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復73,920円(2025年2月25日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>